



第8回 神戸女子大学看護セミナー

地域で暮らす人々の健康を 支援するコミュニティづくり

～看護職による地域ケアの創出と運営の方略～



2023.9.16(土) 10:00-12:00

遠隔(Zoom)と対面を組み合わせたハイブリット方式

参加費
無料

今回の看護セミナーでは、「地域で暮らす人々の健康を支援するコミュニティづくり」をテーマに、社会問題となっている少子高齢多死社会を支える取り組みについて開催します。地域ケアとして、看護職により様々な人々の健康を支援するためのコミュニティが創出されていくことの意味や効果、人的資源の育成、運営および維持の方略について理解を深めます。子育て世代あるいは高齢者を対象とした実践例の活動報告をもとに、それぞれの場における対象者と看護職双方の反応や変化などから、このような実践によるコミュニティが地域の中に創出されていくことの意味や地域における効果、具体的な方略として、人的資源の育成、運営および維持についても意見交換を行います。

パネルディスカッション「地域で暮らす人々の健康を支援するコミュニティづくり ～看護職による地域ケアの創出と運営の方略～」

コーディネーター／東 ますみ (神戸女子大学看護学部・看護学研究科
コミュニティ・ケアシステム領域 教授/学科主任)

パネリスト／三輪 恭子 (大阪公立大学看護学部・看護学研究科 実践看護科学領域
在宅看護学 教授/地域看護専門看護師)

内 正子 (神戸女子大学看護学部・看護学研究科 成育看護領域
小児看護学分野 教授)

申し込み方法

参加をご希望の方は、QRコードから申し込みフォームにてお申し込みください。



Zoomアクセス方法

参加申込頂きますと、自動でZoomのIDとPWが送信されますので、そちらよりアクセスしてください。Zoomの登録等は不要です。

申し込み締め切り日
2023年9月15日(金)

第8回 神戸女子大学看護セミナー

地域で暮らす人々の健康を支援するコミュニティづくり ～看護職による地域ケアの創出と運営の方略～

プログラム

10:00

開会の挨拶

神戸女子大学看護学部学部長 玉木 敦子 教授

10:10～12:00

パネルディスカッション

「地域で暮らす人々の健康を支援するコミュニティづくり

～看護職による地域ケアの創出と運営の方略～」

コーディネーター／東 ますみ (神戸女子大学看護学部・看護学研究科 コミュニティケアシステム領域 教授/
学科主任)

パネリスト／三輪 恭子 (大阪公立大学看護学部・看護学研究科 実践看護科学領域
在宅看護学 教授/地域看護専門看護師)

「地域で暮らす人々を支えるコミュニティの創出と運営」

内 正子 (神戸女子大学看護学部・看護学研究科 成育看護領域 小児看護学分野 教授)

「大学を拠点とした地域における子育て支援の取り組み

～『子育てコラボサロンどーなつ』による多様なコミュニティの形成～」

12:00

閉会

講師およびコーディネーター紹介

大阪公立大学看護学部・看護学研究科 実践看護科学領域
在宅看護学 教授/地域看護専門看護師

三輪 恭子

大阪府立看護大学(大阪公立大学)大学院博士前期課程修了後、2005年に地域看護専門看護師の認定を受ける。淀川キリスト教病院(大阪市)で訪問看護師、退院調整看護師として活動。2015年によどぎり医療と介護のまちづくり株式会社に出向し、地域包括ケアの一拠点として、住民の健康増進・多世代交流の場や最期までその人らしく暮らせる「家」の立ち上げ・運営に携わる。2019年より現職。2023年大阪市立大学大学院看護学研究科後期博士課程修了。現在、地域における看護職によるコミュニティ・エンパワメントの研究に取り組んでいる。

神戸女子大学看護学部・看護学研究科
コミュニティケアシステム領域 教授/学科主任

東 ますみ

兵庫県立大学大学院看護学研究科で博士(看護学)の学位を取得。2004年4月より兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科・ヘルスケア情報科学コース・看護情報学領域の助教授、2012年4月より同研究科教授、2016年4月より神戸女子大学看護学部看護学科・コミュニティ・ケアシステム領域・生活援

神戸女子大学看護学部・看護学研究科 成育看護領域
小児看護学分野 教授

内 正子

神戸女子大学看護学部開設時より、小児看護学の教授として学部生の教育および大学院教育に携わっている。特に地域で活躍できる小児看護専門看護師の養成を目指している。兵庫県立大学大学院看護学研究科博士後期課程満期退学後、博士号を取得。慢性疾患をもつ子どものセルフケアや家族支援、医療的ケアに関連する特別支援学校でのシステム構築などの研究を行っている。近年、地域の小児科クリニックにおける生活志向型のケアプログラムの開発に取り組んでいる。子育て支援については、十年以上前からまちの保健室(子育て支援)や日本小児看護学会健やか親子21推進事業委員会での活動を通して行ってきた。

助学分野の教授、2019年4月より大学院看護学研究科・看護情報システム分野の教授。専門は、看護情報学、慢性期看護学。現在、科研費で取り組んでいる研究テーマは、「看護外来における行動変容が継続しない2型糖尿病患者に対する遠隔看護の有用性の検証」である。